

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 1 | ホーム独自で掲げている「満足の追求」と言う理念を毎朝社是と共に唱和していますが、職員間の思いが統一されておらず、同じ方向性に向かっていない。 | 全職員がホームの理念の意味を理解し、同じ目標に向かってサービスの向上に繋げる。 | 毎月の職員会議のときに、ホームの理念について全スタッフが同じ方向に向かってるか、確認し、具体的に話し合い、日々のサービスが一人ひとりのお客様にとってしっかりと個別ケアになっているか検討する。 | 6ヶ月 |
| 2 | 10 | 介護計画の実施状況や日々の暮らしが十分に介護記録に残されていない。記入漏れや、書き忘れがあり、正しく情報が伝わっていないことがある。 | 記録を正確に残すことの重要性を全職員が理解し、介護計画に反映できるようにする。 | 記録の書き方について勉強会を行う。 | 3ヶ月 |
| 3 | 15 | 職員も利用者と一緒に同じ食卓に着き、ゆっくりと会話をしながら楽しい時間を過ごしていない。 | 各フロアーに職員が最低1名、お客様と一緒に昼食を頂くようにする。 | 食事介助が必要なお客様もいらっしゃるので、全職員ではなくそのときお客様と一緒に食事が取れる職員が、お客様と同じメニュー、もしくは自分で用意した昼食を同じテーブルで頂く。 | 1ヶ月 |
| 4 | 13 | ホームとして定期的に防災訓練は行っていますが2ヶ月に一回の運営推進会議の席で、防災対策について話し合い地域に協力依頼するような働きかけを行っていない。 | 災害時に備え地域の方と連携し協力体制を整えておく。 | 次回の運営推進会議で話し合いの場を持ち、協力依頼が出来るように働きかける。 | 3ヶ月 |
| 5 | 16 | 排泄の自立に向けた取り組みや、紙パンツ等の見直しについての見直しがうまくできていない。 | 快適な排泄を心がけ、紙パンツを利用されているお客様でも排泄パターンを把握し、紙パンツやパットの使用量を減らすことができるようにする。 | 清潔でプライバシーを配慮したトイレ誘導を心がけ記録などで排泄パターンを把握しなるべく紙パンツを汚さないようにしていく。ご本人の自尊心を傷つけることが無いように十分配慮する。 | 6ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。